市民との意見交換会

第３次砺波市総合計画（素案）について

砺波市

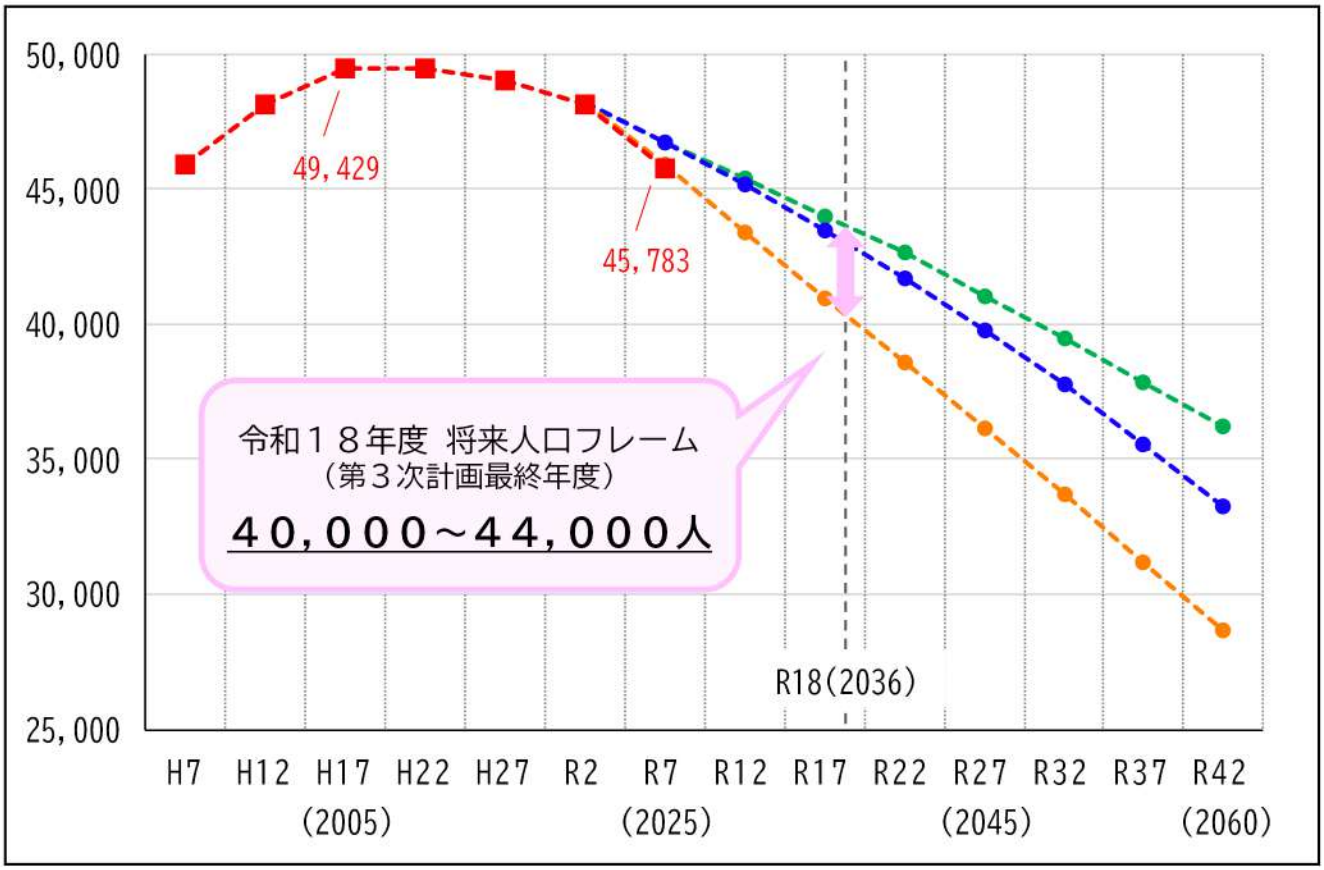
「第２次砺波市総合計画」が今年度末に終了を迎えるにあたり、計画期間を令和９年度～１８年度とした「第３次砺波市総合計画」を策定しています。

１　砺波市の将来人口推計

国勢調査によると、平成１７年に「４９，４２９人」でピークに達した以降は減少に転じ、令和７年は「４５，７８３人」まで減少しています。

下のグラフは、国勢調査の結果をもとに、社会変化や政策効果による振れ幅を見込んだ３パターンの推計を示したものです。

長期的な人口減少傾向は継続する見込みであり、移住推進といった緩和施策だけでなく、人口減少・少子高齢化を前提とした持続可能なまちをつくるという視点も重要となります。



推計区分	出生率の仮定（自然増減）	移動率の仮定（社会増減）
●高位推計	人口置換水準 2.07まで段階的に上昇	R12年以降は均衡状態が継続
●中位推計　※	現状同値 1.2～1.3程度	過去15年の平均が継続
●低位推計		直近R2～R7の傾向が継続

※国立社会保障・人口問題研究所の推計

当日版

2　市民アンケートの結果（令和８年１月実施）

市内在住の１８歳以上１，３００人に郵送で依頼　→　回答６７３件／回答率　５１．８％

性別　男性：４８％、女性：５１％、無回答：１％
年齢　～２９歳：１４％、３０～４９歳：３１％、５０～６９歳：２９％、７０歳以上：２６％

砺波市での生活の満足度は？

満足・どちらかと言えば満足［７８％］
どちらとも言えない　［１５％］
不満・どちらかと言えば不満［　６％］



以下は上位項目のみ掲載　［］内は６７３人中選択した人の割合

砺波市の良い点や魅力は？

①買い物など日常生活に便利［５１％］
②自然災害が少ない［４７％］
③自然が豊かで景観が美しい［３６％］
④水や食べ物がおいしい［３５％］
⑤犯罪や事故が少ない［２２％］

生活での不便や不安は？

①余暇を楽しむ場所が少ない［４０％］
②積雪時の除雪が困難［３９％］
③若い世代が流出している［３７％］
④中心市街地の賑わい不足［３４％］
⑤交通機関での移動が不便［３２％］

特に重要と思う施策分野は？

①子育て環境の充実［２８％］
②保健・医療の充実［２７％］
③教育の充実／福祉の充実［２４％］

若者に選ばれるまちに必要なのは？

①働ける場・働きやすい職場［５８％］
②結婚・出産・子育て支援［４２％］
③住まいに関する支援［２３％］

3　総合計画とは

目指すべき市の将来像とその実現のための施策を取りまとめたものであり、まちづくりの羅針盤として、本市の最上位計画として位置付けられています。

基本構想
「基本理念」「将来像」「基本方針」を定める

基本計画
「将来像」を実現するための施策を総合的・体系的に定める

第３次砺波市総合計画の構成・期間

	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
基本構想	10年間									
基本計画	前期5年間					後期5年間				

4　第３次砺波市総合計画の体系（案）

評価されている部分は引き継ぎつつ、新たにポイントとなる【共通の視点】を加えて、ブラッシュアップさせる方針で策定を進めます。

基本構想

基本理念：砺波市民憲章

将来像：～庄川と散居が織りなす花と緑のまち～ ときめき なごやか みらいもずっと

基本方針

1	教育・子育て	こどもがのびのびと育ち 誰もが学び活躍できる こころ豊かなまち［こども育む豊かなまち］
2	移住定住・生活環境・ＧＸ	人と自然が共生する”となみ暮らし”の良さを 実感できるまち［住みよさ実感のまち］
3	健康・福祉	一人ひとりが 健やかに暮らし支え合う 地域共生のまち［健やかに支え合うまち］
4	産業・観光	地域の強みを生かして 発展していく 活力あふれるまち［活力あふれるまち］
5	市民協働・行財政・ＤＸ	市民と行政の 協働で支える 持続可能なまち［市民とともに歩むまち］

基本計画

【共通の視点】人口減少・環境変化への適応

個別施策（施策分野）

1. 学校教育の充実
2. 幼児教育・保育の充実
3. 生涯学習の推進
4. 地域スポーツの推進
5. 文化芸術の振興・文化財の保護
6. 妊娠・出産・子育て支援の充実
7. 結婚支援の推進
8. 三世代生活・多世代交流の推進
9. 移住・定住・関係人口対策の推進
10. 地域防災力・減災対策の充実・強化
11. 消防・救急救助体制の充実
12. 防犯・交通安全の推進
13. 散居景観・自然環境の保全・活用
14. 花と緑の普及推進
15. ＧＸの推進と生活環境の保全
16. 居住環境の整備
17. 都市基盤の整備・中山間地域等の振興
18. 地域交通ネットワークの充実・強化
19. 健康づくり・感染症対策の推進
20. 地域医療の充実
21. 高齢者福祉の推進
22. 障がい者（児）福祉の推進
23. 地域福祉の推進
24. 農林業の基盤強化
25. 持続可能な農業の推進
26. 商工業の振興・強化
27. 企業誘致・起業・創業支援
28. 中心市街地の活性化
29. 雇用環境の整備
30. 観光資源の魅力創出
31. 市の魅力発信・受入体制の充実
32. 市民と行政の協働の推進
33. 誰もが輝ける社会の推進
34. 行財政運営の最適化
35. ＤＸの推進
36. 広域行政・事業連携の推進

【共通の視点】人口減少・環境変化への適応　①ＤＸ　②ＧＸ　③市民協働

将来像、特に「みらいもずっと＝持続可能なまちづくり」の実現に向けて、分野をまたいでポイントとなる視点を設定

さらに、この視点を活かした取り組みを進める「手段」として①②③を設定

当日版

5　10WAVEプロジェクト（案）

WAVE１　つなぐ 子育て応援 プロジェクト

安心して子育てを楽しめるように、妊娠から切れ目のない支援を行います。こどもの能力や可能性を最大限に伸ばせる環境を整えます。



○こども子育て交流館（こどもおーる）の運営　○子育て支援アプリの活用
○新生児出産サポート　○不妊・不育症治療費の助成

WAVE２　拓く（ひらく） 誰もが主役の学び プロジェクト

全てのこどもが主体的に学び、課題解決力や郷土愛を育むことのできる教育を推進します。市民の誰もが生涯学習活動を心豊かに楽しめる環境を整えます。



○中学校再編整備　○情報活用能力の育成　○きめ細やかな相談・支援体制の充実
○市立図書館の運営　○公民館活動の振興

WAVE３　選ばれる となみ暮らし応援 プロジェクト

移住者や子育て世代はもちろん、地域を支える幅広い世代が住みよさを実感し、「住み続けたい」と思えるまちづくりを進めます。



○となみ暮らし応援プロジェクト　○砺波型サスティナブル住宅重点支援
○幅広い世代の生活応援　○三世代同居・近居の支援

WAVE４　備える 地域防災力 プロジェクト

地域防災力を高め、自助・共助・公助が調和した、災害に強いまちづくりを進めます。地域の防災拠点として備えるべき安全性を確保した新庁舎を整備します。



○新庁舎の整備（災害拠点施設）　○地域防災体制の充実
○クマ識別ＡＩカメラの設置　○ＩｏＴを活用した浸水対策

WAVE５　受け継ぐ 循環型社会 プロジェクト

散居景観や豊かな自然を次世代へ引き継ぐため、市民・事業者・行政が一体となった取り組みをさらに発展させます。「2050年カーボンニュートラル」の実現を見据え、環境負荷の少ない循環型社会と、自然と人間が共生する持続可能なまちを目指します。



○新庁舎の整備（環境への配慮）　○剪定枝リサイクル大作戦
○散居景観の保全　○砺波型サスティナブル住宅重点支援（再掲）

１０ＷＡＶＥプロジェクトとは・・・
　将来像「ときめき　なごやか　みらいもずっと」の実現に向け、
基本計画に掲げる施策のなかで、特に重点的・優先的に取り組むものを示します。

ＷＡＶＥ６　活かす 生活基盤マネジメント プロジェクト

　道路や橋りょう、上下水道等の生活基盤を適切にマネジメントし、安心で快適に暮らせるまちの構築を進めます。観光拠点となる公園施設を再整備し地域の賑わいを創出します。

○道路・橋りょうの維持修繕　○基幹配水管の耐震化　○除雪対策
○チューリップ公園の再整備　○庄川水記念公園の再整備



ＷＡＶＥ７　結ぶ 地域公共交通 プロジェクト

　公共交通の利便性向上を図り、持続可能な公共交通体系を目指します。
将来に向けて、駅周辺整備や新駅検討、新たな交通手段の研究を行います。

○城端線・氷見線再構築事業の推進
○新庁舎整備に伴う市営バス等の路線再編



ＷＡＶＥ８　支える 健康づくり プロジェクト

　主体的な健康づくりと地域の支え合いにより、誰もが自分らしく健康に暮らせるまちづくりを推進します。住み慣れた地域で安心して医療を受けられる安定した体制を整えます。

○地域医療機関との連携強化　○医療ＤＸの推進
○となベジプロジェクトの推進　　○いきいき百歳体操の普及



ＷＡＶＥ９　稼ぐ 産業振興 プロジェクト

　農商工が連携し、特産物や伝統工芸品のブランド化や販路拡大等により、地域の稼ぐ力を高めます。企業誘致や創業支援により、活力ある産業基盤の形成を進めます。

○チューリップ球根等の生産・担い手育成支援　○海外販路の拡大
○企業立地への助成　○工業団地の造成



ＷＡＶＥ１０　伝える 情報発信 プロジェクト

　多様な媒体を活用し、必要な人に必要な情報を分かりやすく確実に届けます。本市の魅力を戦略的に発信し、継続的なつながりを持つ関係人口の拡大を図ります。

○ＳＮＳの活用　○ホームページ等の多言語対応
○電子申請の拡大　○シティプロモーションの推進

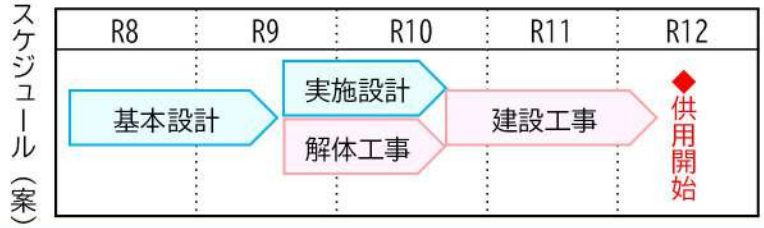


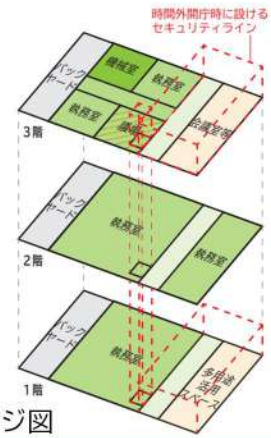
当日版

新庁舎整備事業

基本計画に掲げる「市民の安全を守り、環境と人にやさしく、機能的でコンパクトな庁舎」という基本理念に基づき、新庁舎整備に向けた具体的な検討を行っています。

また、各段階での情報を適切に市民へ開示し、分かりやすく質の高い庁舎整備を目指します。



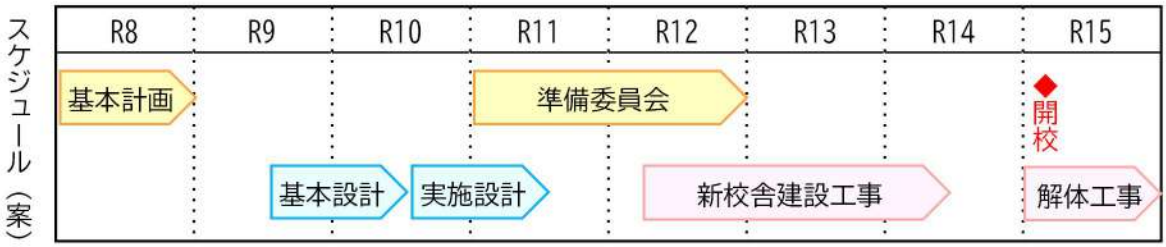


イメージ図

中学校再編整備事業

市内３中学校（庄西、般若、庄川）を統合し、新校舎の整備を行うための基本計画の策定作業を進めています。

８月には、新設中学校の「学校のコンセプト」について、地域の皆様や子供たちの意見・アイディアを計画に反映することを目的に「みらいトーク」を開催しました。



城端線・氷見線再構築事業

計画に基づき、城端線・氷見線のあいの風とやま鉄道への移管、利便性向上策（新型車両の導入、運行本数の増、パターンダイヤ化）を実施します。

これまでに新型車両デザインの発表や、ICカード対応改札機の運用が開始されました。現在は、レールやまくら木の更新、新型車両の導入に向けたホームのかさ上げ工事などが始まっています。





★ご意見は１０月３０日（金）までご提出ください。（様式は問いません）

企画政策課　MAIL：kikaku@city.tonami.lg.jp　FAX:0763-33-5325

当日版